



# ZAICOの現在とこれから

---

# 株式会社ZAICOについて

## 存在目的

モノの情報を、集め、整え、提供し、  
社会の効率を良くする

## 目標

在庫管理をする人を無くす

## 業務

クラウド在庫管理ソフト zaicoの開発・販売

## 設立

2016年10月

## 資本金

5,433万円

## メンバー

32名(正社員25名 + 業務委託等7名)

## 働き方

全員がフルリモートワーク(※コロナ禍以前から)



在庫管理アプリとして  
ダウンロード&評価数 No.1

# 創業秘話

～2012

代表田村の実家が営む倉庫で在庫管理が破綻状態

2013

現場の従業員でも簡単に使える在庫管理アプリを開発

2014-2016

アプリを一般公開  
クラウド会計freeで働きながら通勤中などに改良継続

2016

アプリが好評で在庫管理の分野に大きな可能性を感じ  
株式会社ZAICOを立ち上げ



代表の実家が営む山形県にある倉庫



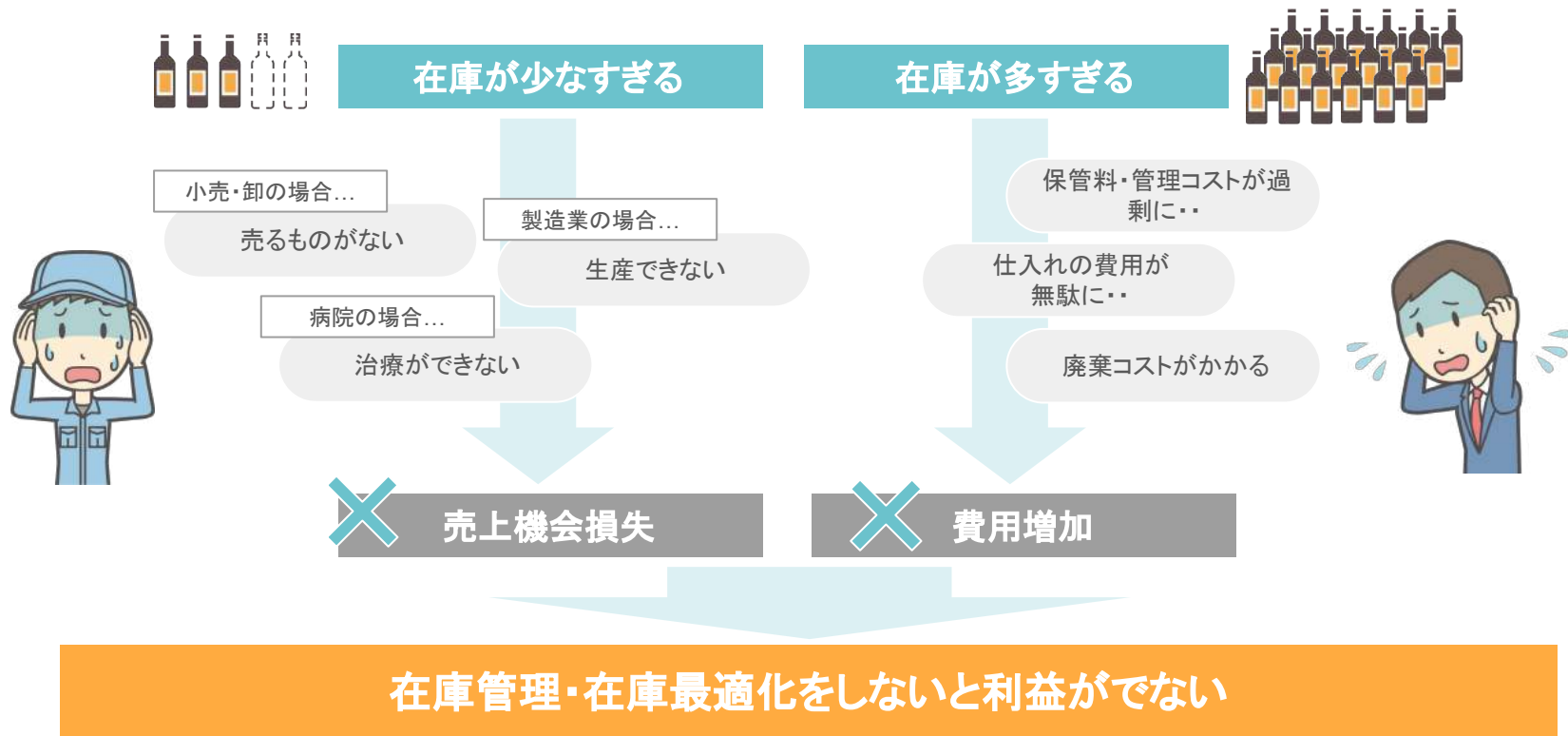
開発初期のアプリ



通勤中に開発

# なぜ在庫管理が必要か？

在庫が足りないと販売・製造・実施の機会を失い、逆に在庫が過剰だとその分の費用がかかり、事業として利益を創出できない、または圧迫してしまう。



# 在庫管理が難しい理由その① - アナログ管理が根付いている現場環境

現場では目視や紙台帳等の管理がいまだに深く根付いており、**手間がかかる**だけでなく作業ミスや抜け漏れ等によりデータソースの信頼性や安定性が低い。加えて、近年の**人手不足**でできない場合も多い。



手作業や目視での確認



紙台帳に記録

物品調達等 請求一覧						
品名	数量	予算	物品調達	請求日/担当	受領日/担当	備考
1000000	1箱/100	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	2箱 (500)	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	1本 (1箱)	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	10箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	2箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	10箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	2箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	10箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	1箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	1箱 (100)	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	1箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	5箱	0	0	2/3	2/3	1000000
1000000	6枚	0	0	2/3	2/3	1000000



従業員のリテラシーに依存



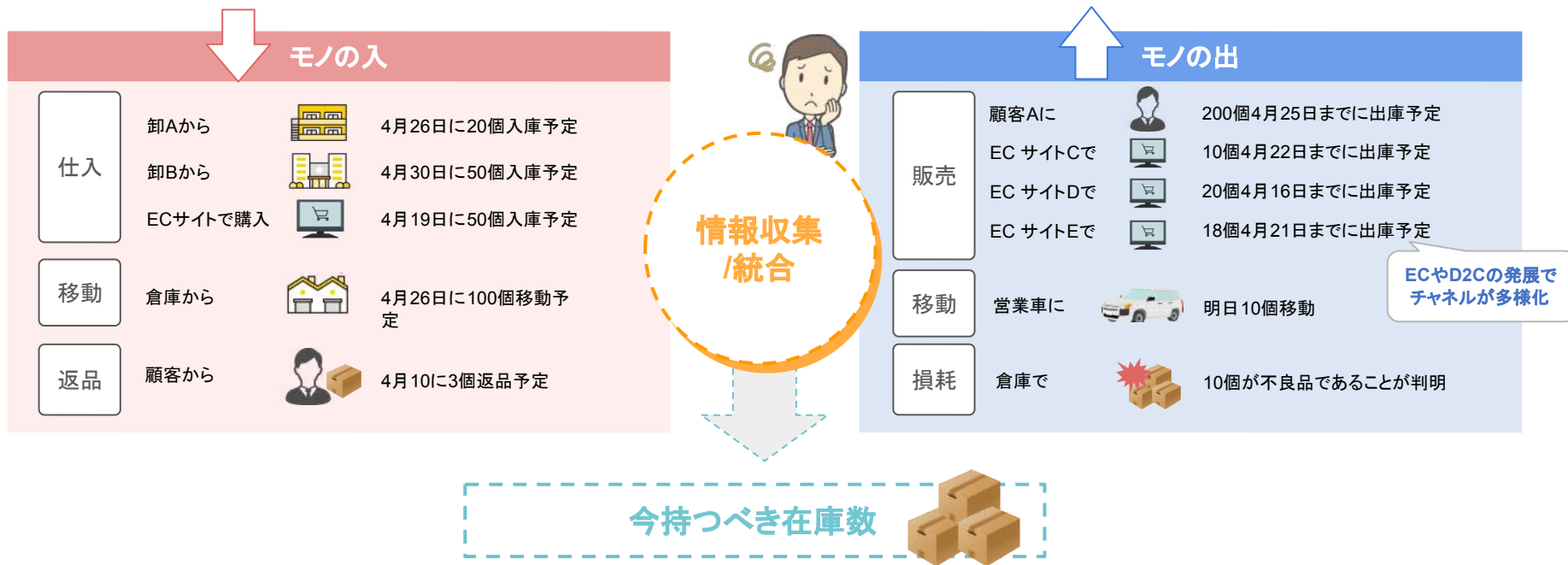
現場での情報取得においてDXが進んでおらず、データが不正確

+

人手不足

## 在庫管理が難しい理由その② - モノの出入りチャネルの複雑性・多様化

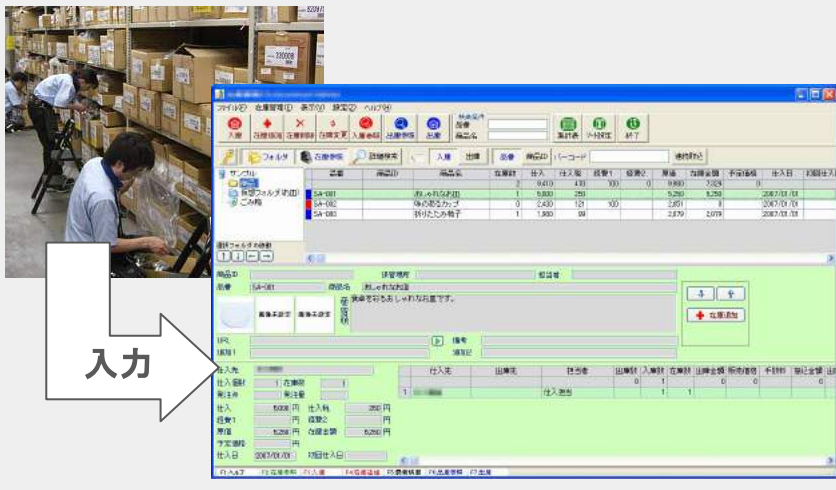
仕入・販売だけでも、モノの出入りのチャネルは多数・多様であり、加えて「予定」まで考慮して最適な在庫を求めるには、情報収集とその統合が非常に手間



モノの出入りチャネルが多く「今持つべき在庫数」の把握が困難

# 従来のソリューションとその問題点

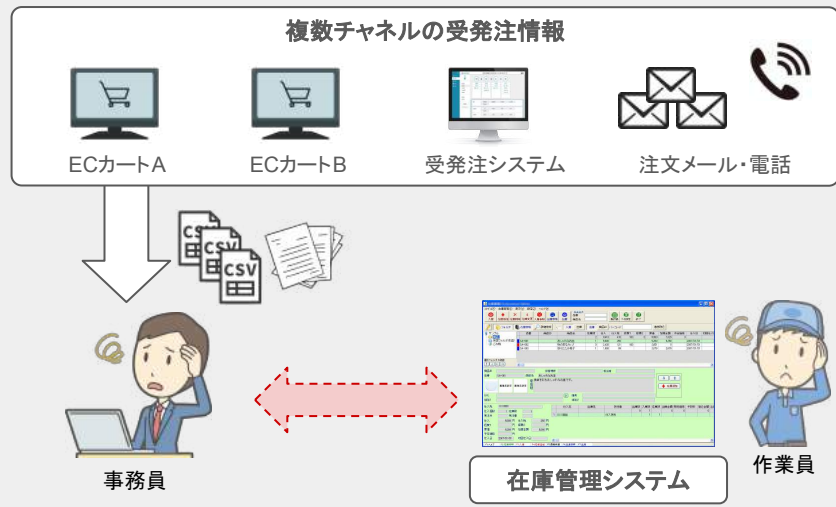
## 現場でのモノのデータの取得



入力

- ✕ 業務ソフトなどPCからの在庫データ入力は **効率が悪い**
- ✕ 手作業による **入力ミス**や **抜け漏れ**が多発
- ✕ 現場作業者の **負担**が大きい

## 複数チャネルのモノのデータの収集・統合



- ✕ チャネルにモノの出入りのデータはあるものの、在庫データと **シームレスに連携**されていない(サイロ化)
- ✕ 手作業でのデータ収集・集約は **非常に手間**がかかる

データ取得におけるUI/UXの粗悪さ・データの多角化複雑性により解決に至っていない

ここが圧倒的！

在庫管理する人をなくすためにモノのデータの取得を徹底

現場のデータ



他システムのデータ



### 現場のデータを取得

zaicoスマホアプリ



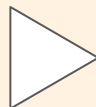
手元で

「かざしてzaico」アプリ



かざすだけで

紹介動画



IoT重量計 ZAICON



重さで

「声でzaico」Alexaアプリ



声だけで

「エクセル取り込みくん」



現場のパソコンから

### 他システムのデータを取得

POSレジ



ECカート



受発注システム



営業/販売管理システム





# zaico導入の効果

欠品、過剰在庫  
がなくなった

作業時間が  
大きく削減できた！

ベテランが  
辞めても大丈夫

新人でも  
使いこなせる



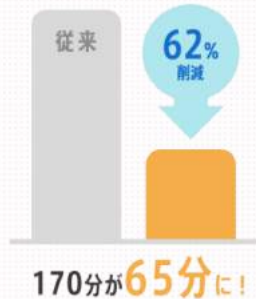
出庫処理



在庫状況の確認



棚卸



棚卸最大誤差



現場の作業効率が大幅にアップ。売上機会拡大・利益の創出の起点に

# 人手不足でも業務が回るソリューションへ

前述の顧客の業務へのfit度合いを高めることに加えて、よりモノのデータ取得の自動化、発注の自動化が行えるソリューションに進化させていく。人の代わりにzaicoを採用してもらえようにする。

## モノのデータ取得の自動化



OCRによる物品の  
認識・管理

[デモ動画]

発展



画像認識による自  
動入出庫認識

[デモ動画]

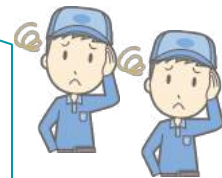
発展



現場を撮影するだけで  
物品とその三次元位置  
を自動認識

[デモ動画]

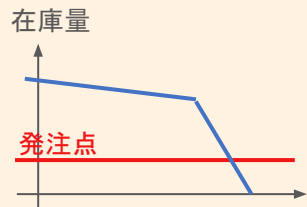
在庫管理の人員が不要に！



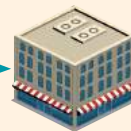
代替



## 発注の自動化



発注情報



取引先

何をいつ発注すべき  
か自動判定/連絡

発注担当者が不要に！



代替



## zaicoが日本市場を獲得していく大きな潮流「人手不足」と「現場敬遠」

USでは「人に代わりにITを雇用する」という概念でDXが進んだが、日本では強い解雇規制があるため「生産性向上のため」の消極的なIT導入に留まっていた。

しかし、今の日本の大きなトレンドである **人手不足**、そして**採用が難しい**敬遠されがちな現場作業において「**人の代わりに在庫管理・発注を行う**」zaicoは経営者の強いペインを解決するツールになる。

実現したい未来

こういう人がいない世界  
→ 人手による在庫管理をなくす



**補足資料**

# 「モノ」の情報を活用したさらなる事業展開

zaicoの事業が十分に育ち、zaicoに「モノ」の情報が大量に集まることを活かして、リユースなどのモノにまつわる新しいサービスも展開も見据えていく。

## 既に提供されているサービス



理化学機器リユースマーケット「ZAI」

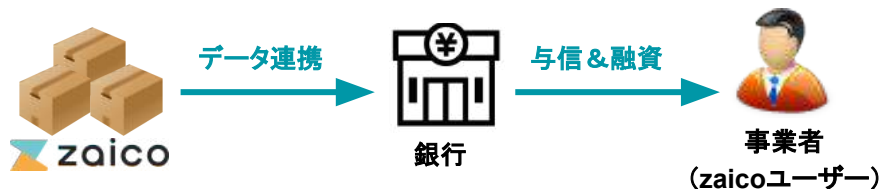
理科研HD、三菱日立キャピタルの3社合同で展開する理化学機器リユースマーケット。

大学、製薬会社を中心に3,500会員が登録している。(文科省のお墨付きも取得)

<https://science.zai.market/>

## 今後予定されているサービスの一例

### 在庫情報による与信・融資サービス



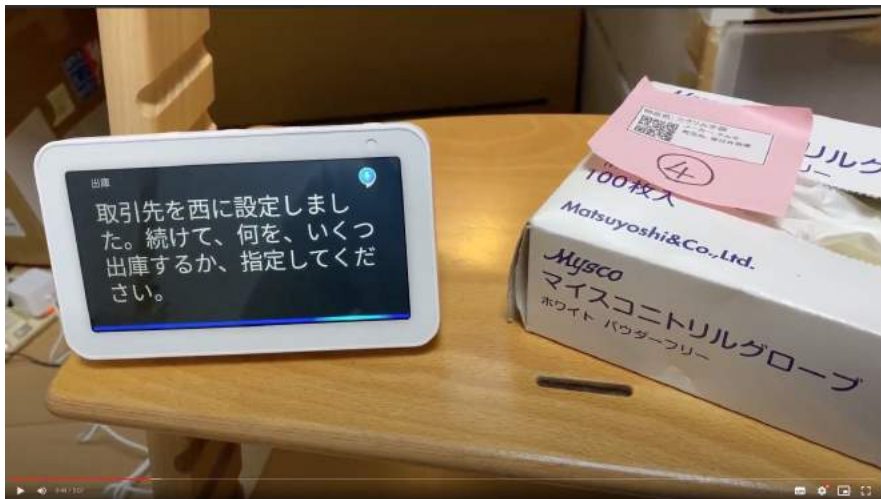
池田泉州銀行と協業して、在庫の動きを分析、事業者の与信を行う。その結果に基づいて事業者が希望すれば銀行が融資を行う。2024年10月にサービス開始予定



# 【動画】パソコンやスマホを使わないzaicoのソリューション

## 音声で出荷指示

[\[動画を見る\]](#)



音声でインタラクティブに操作可能。ソフトの使い方を知らなくても簡単に操作できる。手袋がはずせないなどスマホを使えない現場でも利用可能。

## IoT重量計で在庫管理

[\[動画を見る\]](#)



スマホを使わなくても「置くだけで」在庫管理が完了。状況確認も音声のみで完結。